

## 会社の概況

(平成30年3月31日現在)

商号	株式会社朝日工業社 ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD.
創業	大正14年4月3日
設立	昭和15年8月8日
資本金	3,857,100千円
代表者	代表取締役社長 高須康有
従業員数	934名(連結)、896名(単体)
事業内容	■ 設備工事業 ■ 機器製造販売事業
事業所	本社および本店(東京都港区) 大阪支社(大阪市淀川区) 支店8ヶ所、営業所28ヶ所 機器事業部(千葉県船橋市) 技術研究所(千葉県習志野市)
建設業許可	国土交通大臣許可(特-26)第2822号 管工事業、電気工事業、 機械器具設置工事業、建築工事業 国土交通大臣許可(般-26)第2822号 消防施設工事業

## 連結子会社

(平成30年3月31日現在)

国内	北海道アサヒ冷熱工事株式会社 旭栄興産株式会社
海外	亞太朝日股份有限公司 ASAHI ENGINEERING (MALAYSIA) SDN. BHD.

## 株式の状況

(平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	27,200千株
発行済株式の総数	6,800千株
株主数	2,748名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
朝日工業社共栄会	519	8.13
朝日工業社西日本共栄会	453	7.10
朝日工業社従業員持株会	328	5.14
株式会社みずほ銀行	317	4.96
農林中央金庫	288	4.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	267	4.18
日本生命保険相互会社	250	3.92
高須康有	203	3.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	139	2.18
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	103	1.61

## 株式の所有者別分布状況

所有者	株主数	保有株式数	保有比率
個人・その他	2,519名	3,970千株	58.39%
金融機関	29名	1,757千株	25.84%
その他法人	111名	737千株	10.83%
外国法人等	66名	269千株	3.96%
金融商品取引業者	23名	67千株	0.98%
計	2,748名	6,800千株	100.00%

## 株主メモ

### ■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### ■ 定時株主総会

毎年6月

### ■ 基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要がある場合は予め公告いたします。

### ■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

### ■ 郵便物送付先

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

### ■ 電話お問い合わせ先

0120-288-324 (フリーダイヤル)

※土・日・祝日を除く9:00～17:00

### ■ 特別口座取扱店

みずほ信託銀行株式会社

本店および全国各支店

みずほ証券株式会社

本店および全国各支店

### ■ 単元株式数

100株

### ■ 上場金融商品取引所

東京証券取引所(第一部)

証券コード1975

### ■ 公告方法

電子公告により行います。

<http://www.asahikogyosha.co.jp>

ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

※当社は平成28年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合(5株を1株に併合)を実施いたしました。

※証券会社に口座をお持ちの場合、未払配当金の支払および支払明細発行以外のお手続は、お取引の証券会社にお申し出ください。

※特別口座では単元未満株式の買取および買増以外の株式売買はできません。



# 第89期 報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

## 株式会社朝日工業社



### 当期のポイント

受注高 **90,424**百万円 (前年比**4.0%**減)

売上高 **85,064**百万円 (前年比**6.7%**増)

営業利益 **3,833**百万円 (前年比**3.0%**増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益 **2,760**百万円 (前年比**2.7%**増)



## Top Message

トップメッセージ

より一層の企業価値の向上を目指し、「経営基盤の強化」と「働き方改革」に取り組んでまいります。

代表取締役社長 高須 康有

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第89期報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

### 当期の事業環境と業績

当連結会計年度におけるわが国経済を顧みますと、政府の経済政策や金融当局の金融政策による堅調な雇用や所得環境の改善を受けて、個人消費も回復し、企業収益の改善を背景に、設備投資も持ち直しの動きがみられ、国内の景気は緩やかな回復が継続いたしました。一方、海外経済は、米国の政策動向の不透明感や中国経済の先行き懸念はありますが、緩やかな回復がみられました。

当社グループの事業環境は、設備工事業業につきまして、政府建設投資は底堅く推移しており、民間の受注環境につきましても生活・文化環境施設や生産環境施設など堅調に推移いたしました。しかしながら、受注価格競争の厳しさは続いており、施工面においても要員の不足や資機材の高騰などが懸念されております。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置向け製品は、中国・韓国を中心とする設備投資が続いており、受注および生産は大幅に増加いたしました。また、半導体製造装置向け製品は、半導体需要の拡大を背景に堅調に推移いたしました。

こうした事業環境の下で、当社グループは第16次中期経営

計画の初年度にあたり、受注の確保と収益の向上に総力を挙げて取り組んでまいりました。その結果、年度当初の計数目標値のすべてにおいて目標を上回る成績を上げることができました。

### 今後の取組み

設備工事業業は、次期連結会計年度も厳しい価格競争が続くものの、首都圏を中心に民間工事案件は堅調に推移すると思われ、手持工事量が増加することから施工支援体制の強化を図ります。機器製造販売事業は、FPD製造装置向け製品の生産および販売は、スマートフォンの有機EL（有機エレクトロルミネッセンス）化、テレビの大型化と高精細化が進み、堅調に推移すると思われ。また、半導体製造装置向け製品も半導体需要の拡大を背景に堅調に推移すると思われ。

当社グループは、昨年4月から3ヶ年を計画期間とする第16次中期経営計画（2017年4月～2020年3月）をスタートさせており、次期連結会計年度は2年度にあたります。この中期経営計画は、「経営基盤の強化」と「働き方改革」に取り組む、当社の持続的成長と、より一層の企業価値の向上を目指すものであります。中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページ(<http://www.asahikogyosha.co.jp>)をご参照ください。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト

単位:百万円



## 連結財務諸表(要約)

### 貸借対照表

単位:百万円

	当期末 平成30年3月31日現在	前期末 平成29年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	60,357	50,820
固定資産	21,042	17,322
有形固定資産	6,193	4,433
無形固定資産	855	489
投資その他の資産	13,992	12,400
資産合計	81,399	68,143
(負債の部)		
流動負債	46,007	38,674
固定負債	6,204	3,277
負債合計	52,211	41,951
(純資産の部)		
株主資本	24,473	22,623
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	17,637	15,786
自己株式	△ 742	△ 741
その他の包括利益累計額	4,714	3,567
その他有価証券評価差額金	5,079	4,014
為替換算調整勘定	142	109
退職給付に係る調整累計額	△ 507	△ 555
純資産合計	29,187	26,191
負債純資産合計	81,399	68,143

### 損益計算書

単位:百万円

	当期 平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで	前期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
売上高	85,064	79,724
売上原価	74,655	69,851
売上総利益	10,408	9,873
販売費及び一般管理費	6,574	6,150
営業利益	3,833	3,722
営業外収益	272	265
営業外費用	87	67
経常利益	4,017	3,921
特別利益	71	86
特別損失	37	98
税金等調整前当期純利益	4,051	3,909
法人税、住民税及び事業税	1,417	1,187
法人税等調整額	△ 126	32
当期純利益	2,760	2,688
親会社株主に帰属する当期純利益	2,760	2,688

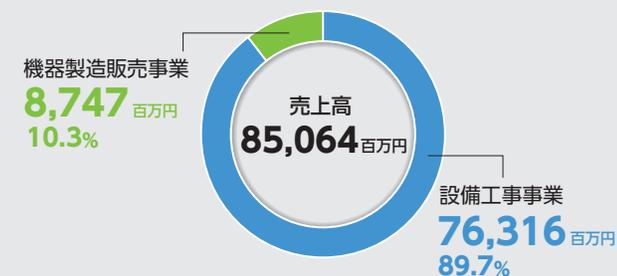
### キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当期 平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで	前期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,002	△ 1,732
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,457	△ 984
財務活動による キャッシュ・フロー	1,965	△ 573
現金及び現金同等物に係る 換算差額	33	0
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	5,544	△ 3,289
現金及び現金同等物の 期首残高	7,584	10,873
現金及び現金同等物の 期末残高	13,128	7,584

## ■ セグメント情報

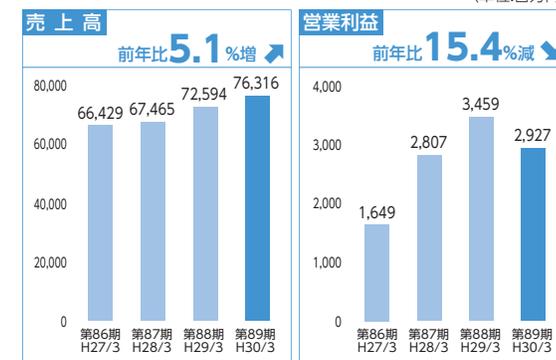
### 売上高構成比



### ■ 設備工事事業

事業内容：空気調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備に関する諸設備の設計、施工および監理

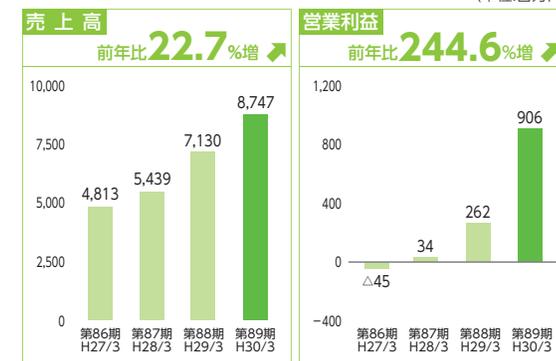
(単位:百万円)



### ■ 機器製造販売事業

事業内容：半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の製造販売

(単位:百万円)



財務の詳細内容は、当社ウェブサイトからご確認ください。

朝日工業社

検索

## 本社本店ビル新築プロジェクト

平成28年8月に着工した本社本店ビル新築工事が平成30年1月に竣工し、翌月13日よりこの新社屋にて営業を開始しました。

新社屋では、これまで別々のビルだった本社と本店が同じ建物内に統合され、これにより部門間のコミュニケーションを高め、業務効率の向上を図ります。

新しい本社本店ビルの完成を機に株主の皆様のご期待に応えるべく、気持ちも新たに社業に精励してまいります。



### 当社新社屋



#### 所在地

- 〒105-8543  
東京都港区浜松町一丁目25番7号
- 「浜松町駅」北口より徒歩約3分 (JR)
  - 「浜松町駅」中央口より徒歩約4分 (東京モノレール)
  - 「大門駅」B4出口より徒歩約2分 (都営浅草線・大江戸線)

#### 建築概要

用途	… 事務所
構造	… SRC造、一部S造
階数	… 地上9階、地下1階
高さ	… 33.51m
敷地面積	… 748.14㎡
建築面積	… 392.37㎡
延床面積	… 3,858.38㎡

### プロジェクトの3つのポイント

① 快適なワークスペース

② 安心・安全なオフィス

③ 環境に配慮したオフィス

#### ① 建築・構造・設備が統合された快適なワークスペース

基準階では3.6mの限られた階高の中にゆとりのあるオフィス空間を確保するため、長さ11mにおよぶT型床版を南北方向に掛け渡すとともに、OAフロアを利用した床吹出空調を採用することで天井高2.9mを確保しました。また、床吹出によるドラフト感のない快適な空調、1.6mピッチの梁と天井の取合い部に取り付けたLEDによる間接照明がもたらす glareレス(眩しくない)照明を実現しています。一つひとつの要素技術をデザインで統合することにより、力強さの中にも品がある社屋を完成させました。

#### ② 安心・安全なオフィス

建築基準法を上回る耐震性能とし、制振構造を採用することで、地震時に揺れを軽減する堅牢な構造体を実現しています。

#### ③ 環境に配慮したオフィス **FOCUS!**

基準階では実際に仕事をする空間(床上1.8m付近)の温度を快適に保つのに有効な床吹出空調を採用しました。また、南面の柱、梁をアウトフレームとし日射遮蔽に利用するとともに遮熱効果の高いLow-E (ローイー) ガラスを採用することで、夏の強い日射による空調負荷を軽減する環境性能の高いオフィスビルを実現しています。

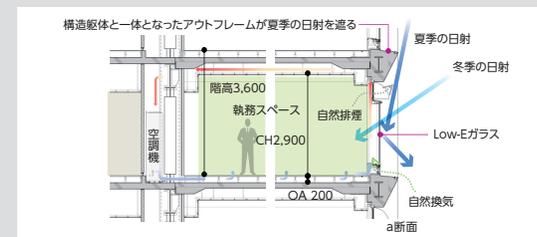
### FOCUS! 環境への配慮

#### 建築的な対応

外皮により日射負荷・空調負荷を低減することで省エネを実現しています。

外壁の形状：庇を出すことで日射による負荷を低減しています。(夏季の日射は遮り、冬季の日射は取り入れる構造で、開放感と快適な室内環境を両立しています。)

窓ガラス：Low-E(ローイー)ガラスを採用することで日射による負荷を低減しています。



#### 設備的な対応

床吹出空調により省エネを実現しています。

床吹出空調は、二重になっているOAフロアに空調した空気を送り込み、床に開いた小さな穴から吹き出した後、天井から還気して空調機に空気を戻します。実際に仕事をする空間(床上1.8m付近)を効果的に空調する一方で、非居住空間は空調環境から除外しています。また、気流の方向を床から天井への一方にするので、効率的で省エネに効果を発揮する空調方式となっています。

